

監視が更け手数を取らぬに知ってとどめはきかつた
 の不眠に、萬年此の調子でいゝと思はれる。夜。
 飼方の奥に至っては、下俵連の横着にも見られる
 奥が数々想像されるに似る。
 夕景頃に到り、蒸し暑く堪え難きものがある。就寝。
 後眠られず持たした、佐々木氏の歯車リ猛烈と
 極め度々ねむられぬ。

七月一日(水)。

午前おごうさん家へ送送、暑熱猛烈を極む。
 The Oregonia によとある二日ポートランドは104度
 も達し、今年最初の酷暑に報じている、だがお市
 の下など此処の湿度は半程暑い。
 午の、お市の御費者(キャプテン Amis, leader)が
 うさうのグループに對し、Leecheam を振るまつた。
 子息が面会に来た次に持参したのには、この
 このアイスクリームでは現在お市の境遇に似て
 干天の shower であり天下の珍品でもあら。殊に僕
 の好物で来てね、僕も無我夢中で吞せし
 んだ。エゾウを数日前の留別会に味つて以来
 最初のもの、一同の喜び方は述べ大変だった。
 又飯に食堂お市の件のかあアウメタの人丸山
 氏が、僕の流産物又は極め度々、物の外、撮に
 さいのを見て、幾々 boiled eggs を振って笑し
 た、同様の好意を謝す。二三日前に、スペイン

アイ
ス
ク
リ
ー
ム

422

(交換情報)

公使から布哇代表に宛てた返書に於て、第二回交換船は、八月末乃至九月初めだとの趣を告げて来たとの情報を取った。裏には八月十日と明言して来た。いふやうに可笑い事だと思ふ。何時までも行き止まりは止むのは迷惑至極である。

(岡崎君)

昨日午後、岡崎君が病院へ岡崎君見舞いの御礼を兼ねて一同から見舞品として Change-1 打を托した。岡崎君の報告によつて、病舎は相当設備整し、食事も適し、岡崎君の坪井両君共に元氣を盡し返してゐる。但し食料の量が少いのは彼等にとって聊か、これへよういかに其れが治療の必要件でもあるのだ。尚ほ坪井君は心臓病だと思はうに、低血圧らしい方が寧ろ悪い様に感じ、自ら杖を放さなければならぬ。診察によつて心臓には何らの異状はなし、恐らく home sick が原因するのだらうとの事だ。之も戦時物足りの第一として附け加へておかう。

(坪井君の病状)

U 区域への往復は午後二時から全四時迄とする旨通達された。然つた二時間限りの事だ、銃射自由ではなし、全日 sill から同リ、ルートを起すの場所が違ふから云つて、こんな拘束をかつた當分の憂國を解かぬ。

(兵隊の食糧)

今日書いた話だが K-2 食堂のチーフは係官に對し更に食料改良の儀を要した。兵隊も同じ物を食つてゐるのだから我儘に失礼と云ふやうに、牛乳の

423

兵がこんな物と食ってゐる筈はさ。ホントから是れから
 止むから幸内にて実物を見せると追窮して、係
 士官や佐官も聊か僻易にて揚句其境を混して
 物分れと成つてさ。漢のチーフは吉田繁吉と
 云ひ、南加の漢大で造、海漢軍に任じてゐる男だ
 けい、幼くして漢で生長要求とていじりやと
 考へらるゝが、愉快な話だ。

七月九日(木)

七日、ミソラに残つてゐる伊勢鎮輔君及びミソラの
 伊勢忠三君共、他二名何十君の同船は、先般 New
 Mexicoへ移転させられた旨の通信あつた由情報に
 接した、即ちミソラ方面の者は強に全部移されたも
 のの如く、同地の残留者は幾何もな、軍が想像
 しない。

南キャンプの入口内側に、いつの間にか立木が樹てら
 れ白塗に黒字の標板が、鮮かに兵隊の注目と惹
 いてゐる。NO.1 Internment Co. Co Commander
 Capt. Hannellと筆頭、又々の係下士官の姓
 名が其下に並列され、下端に Co. Leader Miyagawa
 とある。Miyagaとはサウマホは米野す又社生佐の
 宮川君の事で、先には其がleaderとして三井文庫
 の専任とされて、同氏はさか子か熱心に幹旋と
 れた力めり、同もさく一交換船であつた、後任に
 て宮川君が卷けられたのである。スペイン領は、12